

新生・長崎県立大学、スタート!

2016年4月、学部・学科再編で新しく生まれ変わった長崎県立大学。常に先を見据えて前進している大学の学びの特色を「国際性」「地域性」「専門性」のテーマで、3回にわたってご紹介しています。

地域性 (10月号)

専門性 (12月号)

国際性 (8月号)

日本で唯一専門的に情報セキュリティが学べる学科を中心に紹介。

国際経営学科の語学力向上に関する学びを中心に紹介。

●「しまなび」プログラムの年間計画

前期				夏休み		後期			
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1月
長崎のしまに学ぶ(講義科目)				しまのフィールドワーク(演習科目)					
一斉講義(4回)	しま毎の説明会	グループワーク(9回) 計画作成・中間発表		最終確認	フィールドワーク(4泊5日) 報告書作成		発表会	最終提出(報告書作品など)	

るのみで、学生がディスカッションしながら自主的に取り組むプログラムになっています。課題に対して学生自身が解決策や対応方法を考えることで、課題発見力、分析力、積極性など社会人として求められる能力を養うことも目的としています。

学科の垣根を超えて取り組むプログラムという点もあり、自主性とともに「協調性が養われた」「コミュニケーション能力が高まった」と感じる学生も多いためです。また、教職員からも「しまなび」プログラムを終えてから積極的に発言する学生が増え、ゼミ活動をはじめ、諸活動が活発になったとの声がかかります。

島民の方々には、自分たちが暮らす「しま」の現状や今後について、学生が真剣に考え、行動してくれていることに感謝されています。特に若者と触れ合う機会が少ない高齢者の方々にたいへん喜ばれています。



昨年600名の学生が参加したが、アンケートでは約98%の学生が参加して良かったというデータが出ました。学生たちが楽しみなが学んでいることは、たいへん意義があることだと思います。このような学びを、ゼミ単位で実施している大学はあると思います。が、大学全体として必修というのは全国的にも珍しいと思います。

学生のため、地域のため、これからも継続していきます。

「しま」の問題を解決できる人材育成に取り組んでいます。

長崎県立大学独自の「しまなび」プログラム

長崎の「しま」を通して地域の課題と向き合っています。



地域連携センター 中島 洋 特任教授

長崎県には約600もの「しま」があり、そのうち有人島は72島あります。長崎県の多くの「しま」は、急激な人口減少や少子高齢化が進行しており、今後、日本に生じるであろう問題にいち早く直面しています。

「しま」の問題を解決できる人材育成に取り組んでいます。

「しまなび」プログラムは全学必修科目で、講義科目「長崎のしまに学ぶ」と演習科目「しまのフィールドワーク」の2つの科目から構成されています。学びの特徴は、取り組みの始めから最後まで全期間を学生自らが考えて学ぶということです。教職員は方向性を学生にアドバイス

学生インタビュー



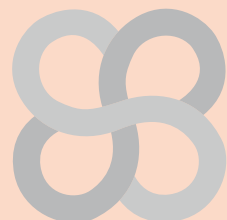
國分 大樹

地域政策学科 3年 (長崎県/諫早高等学校出身)

プログラム体験は、将来の進路を決める転機になりました。

昨年4月から、長崎の離島である壱岐について、「壱岐の体験・観光について調査し、PRする」をテーマに、リーダーとして研究をまとめました。チームは15人で、最初はお互いのことをあまり知らない学生同士でしたが、壱岐に暮らす人々と触れ合う4泊5日のフィールドワークも

あり徐々にチームワークは良くなりました。最終的にはポスターを制作。壱岐の方々にとっても喜んでいただき、やりがいをもって取り組むことができました。このプログラム体験は、地域の人々の役に立つ公務員になりたいという目標を持つ私自身の転機にもなりました。



長崎県立大学

UNIVERSITY OF NAGASAKI



ホームページ



Facebook

経営学部/地域創造学部(佐世保校)
〒858-8580 長崎県佐世保市川下町123 TEL.0956-47-2191 FAX.0956-47-6941

国際社会学部/情報システム学部/看護栄養学部(シーボルト校)
〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1-1-1 TEL.095-813-5500 FAX.095-813-5220

- 経営学部[経営学科/国際経営学科]
- 地域創造学部[公共政策学科/実践経済学科]
- 国際社会学部[国際社会学科]
- 情報システム学部[情報システム学科/情報セキュリティ学科]
- 看護栄養学部[看護学科/栄養健康学科]